



祝 竜丘地区成人式

祝・成人



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,958人
男子 3,384人
女子 3,574人
世帯数 2,430戸
(26年12月末現在)

竜丘地区成人式 盛大に開催

今年の成人式は、一月十二日の日曜日の十三時より竜丘公民館の大ホールで盛大に挙行されました。華やかに、凛々しく着飾った顔が喜びに溢れてあちこちで談笑しています。

この日を迎えるにあたり、男子二名女子四名の計六名が、六回の実行委員会で式典や記念行事を計画し、今日の晴れ舞台を作り上げました。

最初に鈴岡太鼓の勇壮な演奏が始まり、実行委員の田中良子さんの司会で第一部が進められ、塚平卓也君の開会宣言が気持ちを高めていきます。次に主催者の代表として下平館長のあいさつと木下地域自治会長・中島市議員の祝辞では、選挙への参加と自己の健康

管理など、成人として心構えの話があり、大人としての出発に、緊張と意欲を漲らせていました。

第二部では、実行委員の島岡さんと松下さんの司会で進められ、小学校時代の写真が上映され会場内が湧き立ち、恩師の両角先生のお話とスライドで当時の思い出に、花を咲かせました。続いて、式典に参加できない恩師八名によるビデオレターでは、お祝いの言葉やパフォーマンスに会場内は大いに盛り上がりました。

第三部の祝賀会では、おいしんぼプラザの料理や野菜路のそばに舌つみみょうち、久しぶりの再開を喜び合っていました。



和やかに懇談



成人式実行委員

期待や希望がある一方、不安と竜丘を離れる寂しい気持ちもあります。寂しい時、仕事で疲れている時には竜丘の風景や応援してくれる友人や家族を思い出して離れた土地でも頑張っていきたいです。成人としての自覚を持ち立派な成人になりたいです。そしていつかは家庭を持ち、私の母のようなお母さんになりたいです。

瀨川達也さん (駄科)

私は、高校を卒業後に工場に就職が決まり、現在まで約二年働いています。仕事上、帰りが夜遅くなることもあり、大変ですが難しい仕事も任せられるようになってきました。これからは先輩が入ってきたり人に教える機会が増えてくるので、一つでも多くのことを教えられるように、努力していきます。

また、私生活についても家族に頼りきりになってしまっているのが、家事を手伝ったりと親孝行もしていきたいと思っています。

塚平卓也さん (時又)

私は、活動的で行動力のある大人になりたいです。今は、専門学校に通っていて、家族と暮らしていますが、もう少し就職して生活も環境も変わっていきます。その時に自分の力で生活し、仕事も私生活も充実させることができたいと思います。

今までの二十二年間、自分のやりたい事をやりたいようにやってきました。成人したらもっと自由にできると思

ってたけど違った。責任を持った行動をとっていかなければならぬし、子供達(笑)の見本にならないと、という事で、私は見本にはなれないので(笑)社会人大人の最低限のルールとマナーを守って、恥じない大人で居たいと思っています。

副実行委員長 田中良子さん (長野原)

私はこの春、飯田女子短期大学を卒業し社会人への仲間入りをします。慣れ親しんだ竜丘を離れ、松本市での一人暮らしが始まりました。初めての一人暮らしに



思い出のスライド

思い仕事を覚えました。実際に働いてみると思っていた以上に大変で、時々挫折しそうになります。ですが社会人として成人として責任をしっかりと持たなければならぬと思うので、私生活でも仕事でも責任を持って頑張っていきたいと思

森みどりさん (上川路)

私は、高校を卒業し、専門学校へ行き、無事内定をいただきましたがこれから社会人になるということに不安と期待でいっぱいです。不安の方が大きいですが、今まで学校で学んできたことを活かして社会の力になりたいです。



鈴岡太鼓による祝の演奏

平成二十六年はどのような年になるのでしょうか？ 当地区において昨年の大きなニュースは二〇二七年開通のリニア新幹線の飯田駅の位置が上郷飯沼に発表されたことです。

「リニアが日本を改造する本場の理由」(市川宏雄著)を読むと興味深い内容がありました。著者の文を引用すると「中間駅の予定の新甲府、新飯田、新中津川の中で、最も大化けしそうだと思われているのは飯田駅である。」との文面があります。

要は、他の駅予定地に比べ東京へのアクセスが悪く、リニア開通による効用が一番高いことを言っています。

また、観光資源としての天龍峡、日本秘境百選に選ばれた遠山郷、大平宿について都会の観光客確保の可能性についても言及しています。

陸の孤島、都の塵も通い来ぬと言われる当地区ですが、リニア開通に伴う移動時間の短縮にて東京の経済文化、情報を享受でき、ビジネス、観光の面でも当地区への影響は図り知れず、当地区にとつて千載一遇のチャンスです。リニア開通に向け著名な評論家を招いてのシンポジウムも開かれます。商工会が主体となり開通時の経済活性化を見据えた協議会が発足するなどリニア開通へ向けての動きも活発になっていきます。

数年先の経済が読めずこの先何が起るか分からない時代ですが、十三年後の自分と照らし合わせる中でリニアの開通時を想像する事も一つの楽しみです。今後のリニアの進展を興味深く見守りたいと思います。

伝統は 守ろうとする 心意気に支えられて

竜丘地区 おん火事情

先人たちから伝えられてきたおん火が、今年は十三ヶ所で行われました。多くの方々が無病息災を願うこの行事も、地区により特徴があります。

駄科

駄科は地域ごとにわかれ、今年では四ヶ所で行われました。

北平地区では、五日の朝からつくり始めました。昔からの伝統がうまく伝授されていきました。中心の心棒の先に「へいそく」をつけ

長野原

縄で一定の方向につなぎ止めた先に竹を立てます。心棒の周りを竹で囲み最後に正月飾りの松、達磨、破魔矢などを飾り立派な飾りが出来ました。引きつづき点火して餅を焼き、当日片付けていきました。

時又

時又のおん火は、昔からの伝統を受け継ぎ、一月七日に時又港西側広場で開催されました。平日開催でしたが、約四十名程集まり、氷点下九度の中、午前六時に点火されました。昔より人は少なく、白寿会の皆様から若い世代に引き継がれながら伝統行事として続いていきます。

上川路

上川路のおん火は、一月五日の早朝六時に、上川路八幡社下と、久米川マレット場の二ヶ所で行われます。中心の「へいそく」とばん傘の飾りが昔から伝統で、小学生が中心となり正月飾りを集め、区民の方々が色々な形で協力し作られ、一年の無病息災を、餅を焼きながら願っています。

つなげよう心とあいさつ!

あいさつ運動標語

皆さんご存知でしょうか? 竜丘公民館、竜丘小学校周辺にのぼり旗が、飾られています。これは、恒例のあいさつ運動の今年度の最優秀賞の標語です。「つなげよう心と心あいさつ」の作品です。九月から十月にかけて小学生児童に標語を募集し三百八十作品の中から選ばれました。まさに地域の方々といさつからつなげようとする気持ちが伝わるとても素敵な標語です。

「いってらっしゃい」に元気をもらえた感じがします。知らない人でもあいさつをしただけで気持ちが潤います。朝のあいさつは一日の始まりでも大切なものです。「いってらっしゃい」

「つなげよう心と心 あいさつで」

最優秀賞
三十一 杉本 悠

優秀賞
一 木羽 美紀

二 塩澤 遥

三 上原あげは

四 笑顔の木 育てていこう あいさつで

五 笑顔の木 育てていこう あいさつで

六 笑顔の木 育てていこう あいさつで

七 笑顔の木 育てていこう あいさつで

八 笑顔の木 育てていこう あいさつで

九 笑顔の木 育てていこう あいさつで

十 笑顔の木 育てていこう あいさつで

十一 笑顔の木 育てていこう あいさつで

十二 笑顔の木 育てていこう あいさつで

十三 笑顔の木 育てていこう あいさつで

十四 笑顔の木 育てていこう あいさつで

十五 笑顔の木 育てていこう あいさつで

十六 笑顔の木 育てていこう あいさつで

十七 笑顔の木 育てていこう あいさつで

十八 笑顔の木 育てていこう あいさつで

十九 笑顔の木 育てていこう あいさつで

二十 笑顔の木 育てていこう あいさつで

二十一 笑顔の木 育てていこう あいさつで

二十二 笑顔の木 育てていこう あいさつで

二十三 笑顔の木 育てていこう あいさつで

二十四 笑顔の木 育てていこう あいさつで

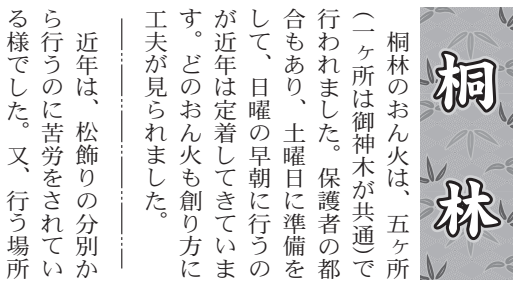
二十五 笑顔の木 育てていこう あいさつで

二十六 笑顔の木 育てていこう あいさつで

二十七 笑顔の木 育てていこう あいさつで



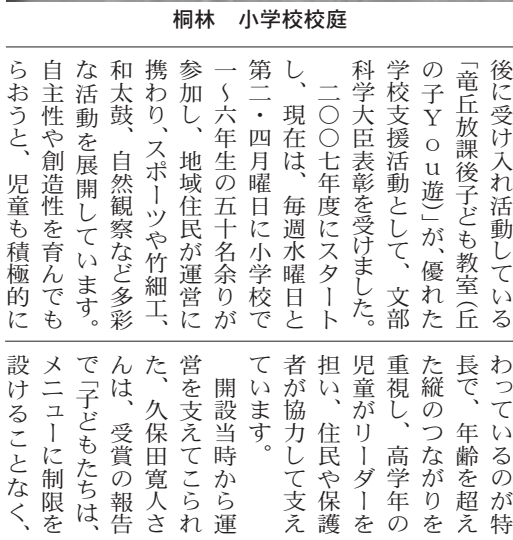
長野原 区民広場



桐林

桐林のおん火は、五ヶ所の二ヶ所は御神木が共通で行われました。保護者の都合もあり、土曜日に準備をして、日曜の早朝に行うのが近年は定着してきています。どのおん火も創り方に工夫が見られました。

近年は、松飾りの分別が行うのに苦労をされている様でした。又、行う場所の確保に苦労されている地区もありました。「子供の減少により、準備の人数が減り、大変になった」との声も聞かれました。しかし、伝統を守ろうとする心意気は、感じられました。



桐林 小学校校庭



上川路 久米川マレットゴルフ場

「丘のみちしるべ」は、竜丘全体を学習のエリアと捉え、地域を知り地域に親しむ教材として、平成十三年に発行されました。

「丘のみちしるべ」は、竜丘小学校の遠足に活用し、地域の方々と一緒に参加し歴史や自然などを紹介しながら取り入れていくことが、地域に親しみや誇りを持つことに繋がります。

「丘のみちしるべ」は、竜丘小学校の遠足に活用し、地域の方々と一緒に参加し歴史や自然などを紹介しながら取り入れていくことが、地域に親しみや誇りを持つことに繋がります。



寒さも吹き飛ばす熱戦 囲碁ボールンメンズダブル

十二月八日(日)午前十一時三十分より、竜丘の冬季スポーツフェスティバルを開催しました。竜丘小学校の体育館にて開催式を行

い、公民館長の挨拶や注意事項を確認した後、全員でストレッチ体操を行いました。その後、ワンバウンドの選手は体育館で男女に別れ、囲碁ボールの選手は公民館に移動し、A・B・Cブロックに別れて競技を開始しました。ふらばーは、各地区は、各地区ク優勝桐林となりました。

和気合い合いと、素晴らしいチームワークで熱戦を繰り広げました。特に、子供たちの大きな応援に後押しされたお父さんお母さんが張り切っていました。

閉会式は、バレーと囲碁ボールと会場が分かれていました。試合結果は、ふらばーが優勝、女子優勝桐林となりました。囲碁ボールでは、Aブロック優勝時又、Bブロック優勝時又、Cブロック優勝桐林となりました。

「丘のみちしるべ」は、竜丘全体を学習のエリアと捉え、地域を知り地域に親しむ教材として、平成十三年に発行されました。

「丘のみちしるべ」は、竜丘全体を学習のエリアと捉え、地域を知り地域に親しむ教材として、平成十三年に発行されました。

「丘のみちしるべ」は、竜丘全体を学習のエリアと捉え、地域を知り地域に親しむ教材として、平成十三年に発行されました。

「丘のみちしるべ」は、竜丘全体を学習のエリアと捉え、地域を知り地域に親しむ教材として、平成十三年に発行されました。